

第4章 | これからの国東市のための住民アンケート

第1節 調査の概要及び回答者の属性

(1) 調査の概要

I 調査の名称

「これからの国東市のための住民アンケート」

II 調査の目的

平成25年度全面改訂する「第2次国東市総合計画」の策定にあたり、国東市民の意見を収集するとともに、一部「国東市まちづくり住民アンケート（主管 東国東地域町村合併協議会：平成16年7月に実施）」と比較することにより以下の資料として活用することを目的として実施しました。

- 「第2次国東市総合計画」の基本構想及び基本計画策定に向けての資料
- 本市の「まちづくり」や市政全般にわたる政策立案のための資料

III 調査の方法

調査地域：国東市内全域

調査対象：国東市内に在住する満20歳以上の男女5,000人
(住民基本台帳による)

抽出方法：層化抽出方法（※1）による

人口比例割り当て人数を下記の階層により任意に抽出する。

階層区分表：層化変数は以下の年代別とする。

階層区分（層化変数） －年齢はH24.12.25の満年齢－	国東市の階層人口 (H24.12.25現在)	割当人数
20歳以上－34歳以下	3,998人	742人
35歳以上－44歳以下	3,196人	594人
45歳以上－54歳以下	3,429人	637人
55歳以上－64歳以下	4,775人	887人
65歳以上	11,527人	2,140人
合計	26,925人	5,000人

抽出理由：本市の政策立案に活かすため、国東市民のライフステージに併せた多様な意見を幅広く求めるため。

※1：統計調査で、母集団から標本を抽出する時、母集団をいくつかの層(群)に分け、適切な比率で標本を任意に抽出する方法。

IV 調査の期間

開始年月日	平成25年1月23日
終了年月日	平成25年2月6日

V 回収結果

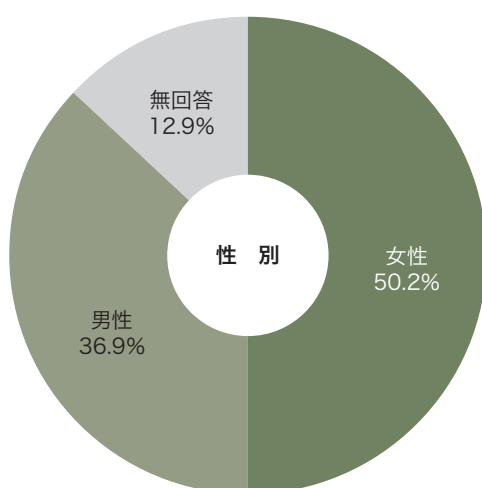
配布数	回収数	回収率
5,000	2,390	47.8%

(2) 回答者の属性

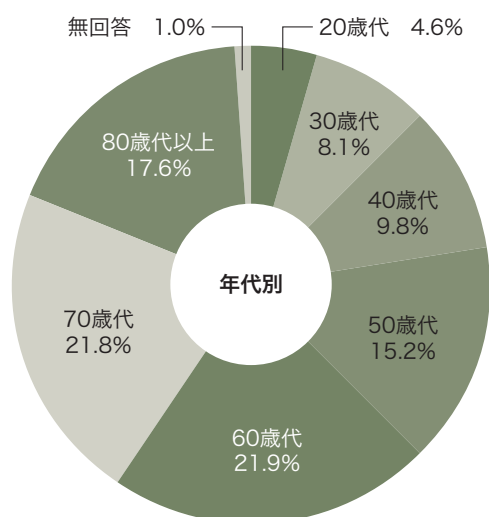
有効回答のあった2,390人の属性は、以下の通りです。性別は、「女性」が50.2%、「男性」が36.9%です。年代は、「60代」の割合が、21.9%と最も高く、「70代」21.8%、「80代以上」17.6%、「50代」15.2%、「40代」9.8%、「30代」8.1%、「20代」が4.6%となっています。

また、年代を男女別に分析しても、40代以下の回答率は男女ともに23.9%となっており、回答率としては、男女別に大きな違いは見られません。

性別 (N = 2,390)



年代別 (N = 2,390)



(注) 「N =」は回答者数を表します。パーセントの母数となる数字です (以下、同様)。

第2節 調査の結果

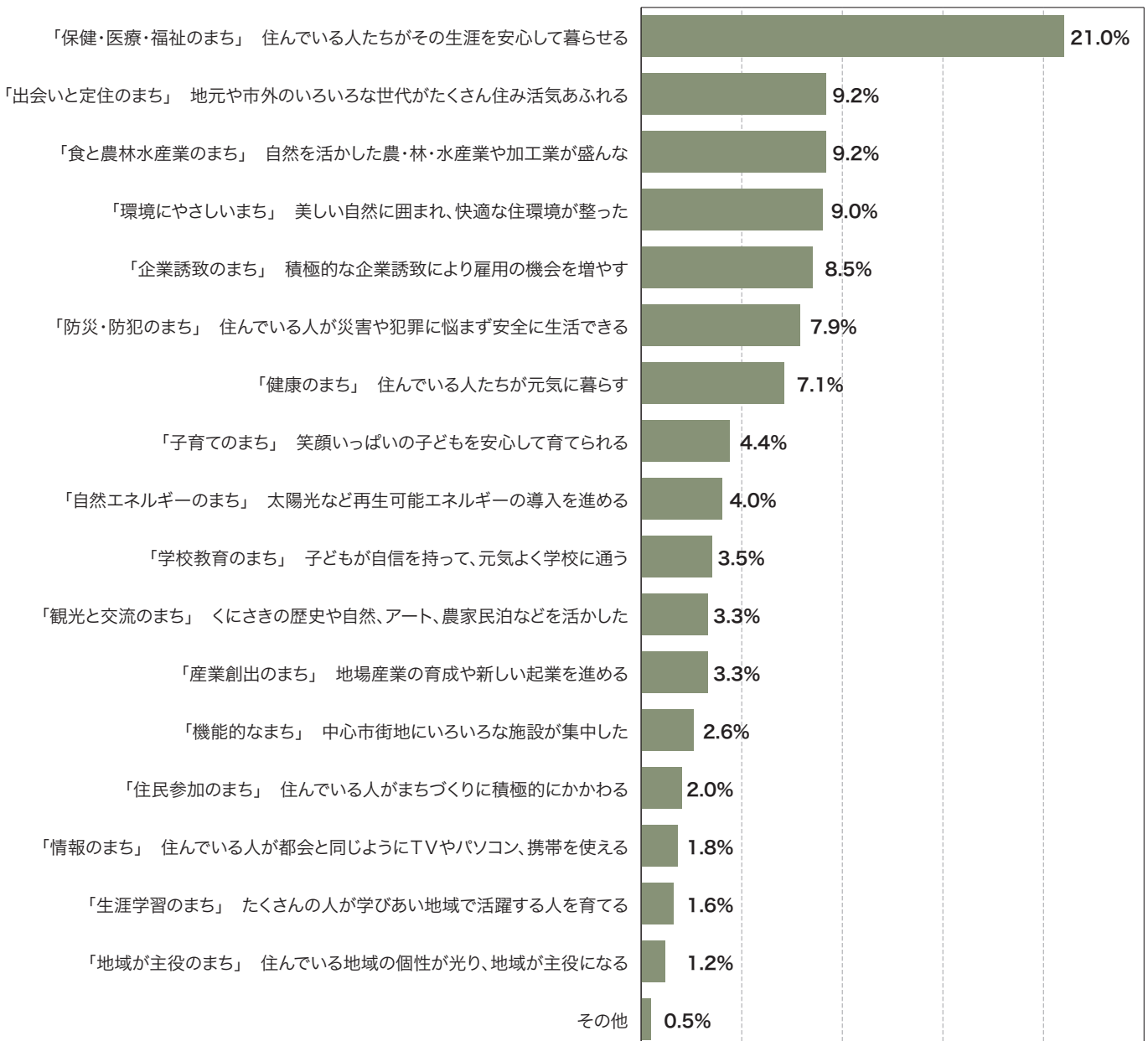
(1) これからのまちづくりについての調査結果について

国東市の将来像で最も望むイメージは「保健・医療・福祉のまち」で21.0%、他の項目を大きく引き離して最も高くなっています。次に「出会いと定住のまち」「食と農林水産業のまち」(9.2%)「環境にやさしいまち」(9.0%)「企業誘

致のまち」(8.5%)と続いています。詳しく見ると、「住民参加のまち」をイメージする数値がかなり低下しておりコミュニティ力や協働意識の減退が、懸念されます。

将来のイメージ (H24) (N=2,390 複数回答 T=6,563)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0%



平成16年度調査時点での新市のイメージとの比較について

合併前の新市イメージとしては、「医療・福祉の充実したまち」が21.3%と最も高くなっています。次いで、「安心・安全なまち」(17.0%)、「豊かな自然や資源を活かした観光のまち」(12.3%)、「地域産業を活かした活力あるまち」、「快適な住環境に恵まれたまち」(10.9%)となっています。

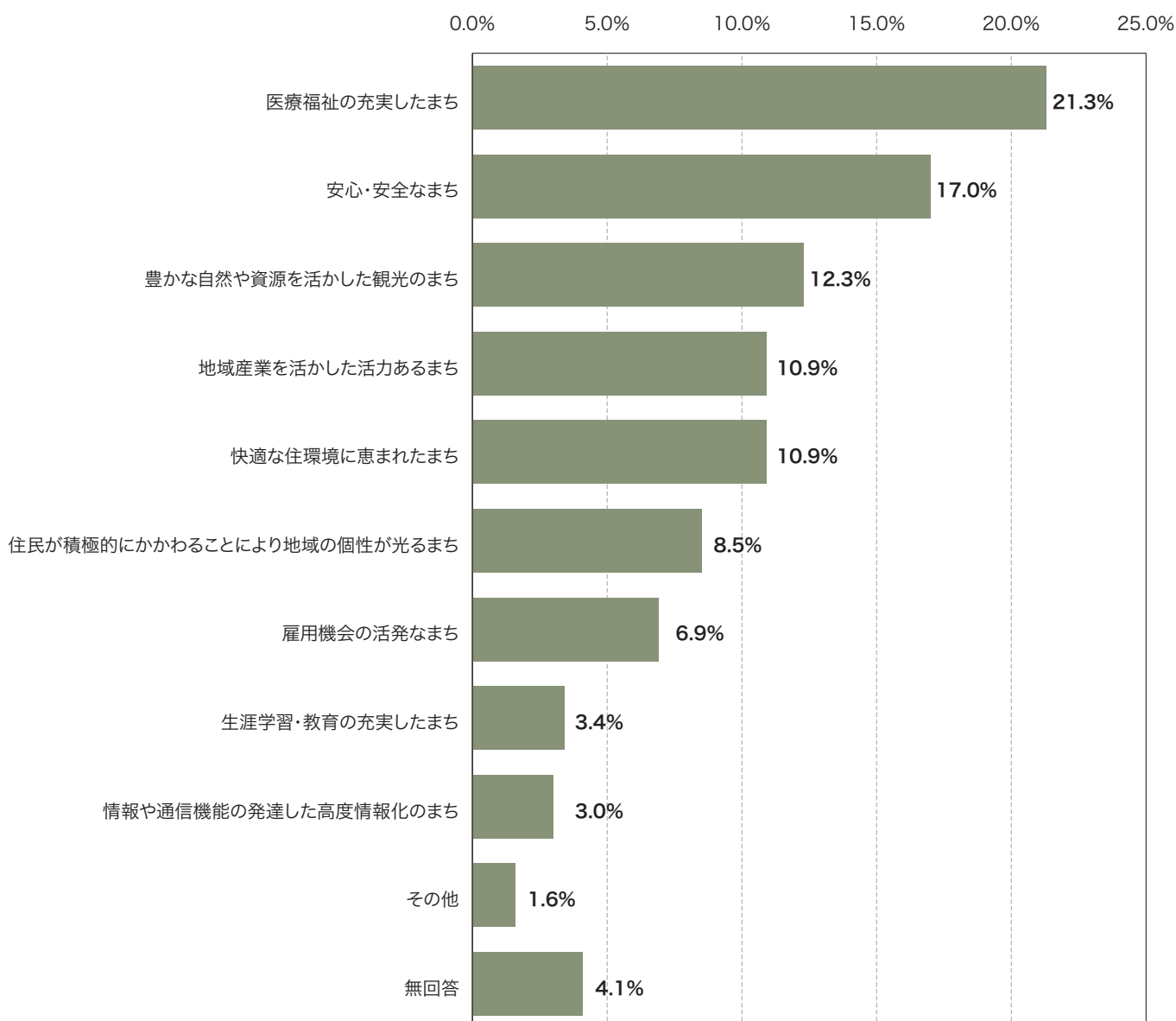
平成16年調査時点と比較しても「医療・福祉」の充実を望む意見が多いことがわかります。前回の質問になかった項目とは言え、新しいイメージ

の「出会いと定住のまち」が、同率ですが2番目に多い意見となっています。また、雇用に関わる「企業誘致のまち」を望む意見が前回より多い傾向にあります。「住環境に優しく、地域産業を活かした活力あるまち」については、前回に引き続き、今回の調査でも堅調な支持を得ています。

反対に、「住民が参加のまち」「豊かな自然や資源を活かした観光のまち」のイメージについては、低下傾向にあるとも言えます。

新市のイメージについて (H16)

(N=9,786 複数回答 T=24,404 姫島村含まず。)



(2) 暮らしの満足度と重要度の調査結果について

I 現在の暮らしの「満足度」の調査結果

今回のアンケートでは、43項目にわたる項目について暮らしの満足度調査を実施いたしました。満足度の高い項目のベスト10と不満足度の高い項目のベスト10は下表の通りになっています。「健診・相談・健康教室など日常の保健活動について」が最も高く、次に「ケーブルテレビやインターネット環境の整備について」が続きます。逆に「就職の機会について」や「病院や医療の充

実について」、「夜道の安全対策などの防犯について」、「空き家バンクなどの移住や雇用、婚活の支援について」の不満足度が高くなっています。また、満足度と不満足度の両方にランクインしている項目は、「病院や医療の充実について」、「夜間・休日の救急医療体制について」となっており、この2つの項目が、市民にとって最も身近で、関心の高い政策であることが予想できます。

満足度ベスト10	
健診・相談・健康教室など日常の保健活動について	16.5%
ケーブルテレビやインターネット環境の整備について	16.0%
市の広報誌などの広報活動について	14.7%
夜間・休日の救急医療体制について	14.1%
病院や医療の充実について	14.0%
ごみ・し尿の収集・処理について	13.2%
市道等の整備について	13.0%
高齢者に対する福祉や施設について	12.6%
図書館や公民館、スポーツ施設について	12.5%
上水道・簡易水道の整備について	12.3%

不満足度ベスト10	
就職の機会について	50.7%
病院や医療の充実について	38.8%
夜道の安全対策などの防犯について	37.0%
空き家バンクなどの移住や雇用、婚活の支援について	36.6%
商業の振興について	32.9%
公園・子どもの遊び場等について	32.6%
路線バス・コミュニティバス・タクシー等について	31.1%
観光の振興について	29.0%
夜間・休日の救急医療体制について	28.9%
農業・林業・水産業の振興について	28.5%

II 現在の暮らしの「重要度」の調査結果

重要度の高い項目は以下の通りで、「不満足度」の高い項目と重なっている項目が多く見られます。

それ以外では、災害時の対策について市民の重要度が高いことがわかります。

重要度ベスト10	
就職の機会について	72.2%
病院や医療の充実について	69.7%
空き家バンクなどの移住や雇用、婚活の支援について	68.5%
夜間・休日の救急医療体制について	67.5%
夜道の安全対策などの防犯について	62.8%
高齢者に対する福祉や施設について	61.0%
災害時の避難場所や避難路について	59.1%
観光の振興について	58.4%
農業・林業・水産業の振興について	57.4%
地震や水害への対策や消防について	55.9%

Ⅲ 合併前（H16年）と今回（H24年）の満足度と不満足度調査との比較

概ね、合併前に比べて満足度が低くなっている傾向にありますが「満足度」と「不満足度」で大

きく合併前と変化している項目は以下の項目となっています。

合併前よりも「満足度」が増えている項目
(24) ケーブルテレビやインターネット環境の整備について (H16 質問 情報・通信体制の整備について)
(39) 男女共同参画社会の実現について
(26) 災害時の避難場所や避難路について
(38) 人権が尊重される地域社会づくりについて
(16) 観光の振興について
(12) 幼稚園や小・中学校の教育内容、施設について / (23) 路線バス・コミュニティバス・タクシー等について (H16 質問：バス・船の便と路線網について)

合併前よりも「不満足度」が増えている項目
(3) 病院や医療の充実について
(17) 就職の機会について
(7) 高齢者に対する福祉や施設について (H16 質問：老人福祉センターなどの高齢者に対する福祉について)
(15) 工業の振興について
(5) 乳幼児や児童に対する福祉や施設について (H16 質問：保育所・児童館など乳幼児や児童に対する福祉や施設について)
(14) 商業の振興について

※満足度調査の詳細は、145Pに掲載しています。



